

-Link “新風”

Vol.54
(通算 第147号)

だんだん暖かくなり、過ごしやすい季節になってきました。
季節の変わり目は風邪を引きやすくなるので、体調管理には十分注意しながら
仕事も頑張っていきましょう。



『WALK!』

『今月の表紙』

4/20(土)に、白鳥部長主催による「沼津ウォーキング」に行ってきました。
参加者は、白鳥部長、山本(明)部長、野副部長、小野さん、小針さん、臼井の6名でした。
沼津駅を出発し、狩野川沿いを東に向かい、清掃プラントを過ぎた所から香貫山へ。頂上を制覇したら
逆側へ下りていき、再び川沿いに進み沼津駅まで戻るというルートでした。
あいにくの曇天で、途中小雨にも見舞われましたが、程よい気温と距離(約8km/約16000歩)で、
快適な運動になりました。
今後も時々開催するとのことですので、みんなでワイワイ歩いてみませんか？

撮影日時: 2013年4月20日 撮影場所: 香貫山登り口 撮影者: 臼井

初心忘るべからず



5月を迎え春の息吹に触れると、何かいいことがあるような期待感を感じ取るのは私だけでしょうか。“意識を変え！やり方を変え！”を実践して息吹を呼び込みたいものです。

今年も3人の新しい仲間が入社しました。ようこそ、私どもの会社に！辛抱強く耐えて中心的な存在感のある人になってくださいと願うものです。

毎年、新社員に社長としてのハナシをしています。ここでその内容を記載してみます。これらの内容は、社員として、社会人として、最低限必要なことであろうかと思いいハナシをする訳で、いつも自分に問いかけていることでもあります。そういう意味でまさに共育であります。

【企業とは？(会社と学校の違いを含めて)】

1. 会社は**利益の追求**を主目的とし永続的に営む事業体。
利益を生み出さないと会社の再生産は不可能であり、社会的貢献もできない。
2. 学校は勉強ができるものが一番だが、企業では**利益を生み出すものが一番**である。
3. 理論型人間より**行動実践型人間**が求められる。
4. 最低点はあるが**100点満点はない**。
5. 人間関係は複雑なので**体制適応型の能力**が求められる。
学歴差、年齢差、性別、学力差が複雑に絡み合っている。
6. **業績達成能力(成果)**が強く求められている。
7. **仕事の正確さ**と同時にその**スピード**が求められる。
8. 社員一人ひとりの**創造的能力**が高く評価される。
9. 落ちこぼれ社員は**淘汰**していかねばならない。
10. 全職場の**連携プレー**が重要で、個人プレーは許されない。会社の求めることと自分がやりたいことは、しばしばズレが生じる場合がある。
11. 教わるのではなく**学びとる(自力本願)**ことが大事である。
12. 常に**感性**を磨いていかなければならない。
13. 組織は常に**流動的**である。
〈これらは、私が若い頃、経営総合の中村英勝先生から教えられた事項です〉



【“じんざい”について】

人財、人材、人在、人罪のうち、**人財(会社の宝)**を目指そう。

【働く心構え】

1. 社会と会社の**ルールとマナー**を守れ。
2. いつも**感謝の念**を忘れるな。他人の痛みを理解せよ。
3. 世界にたったひとりの自分**[オンリーワン]**！個性を磨け、個性を活かせ。
4. **目標**を立てよ。**P・D・C・A**を回して成果を出せ。
5. **信用**され、**信頼**される仕事をせよ。
6. 給料はお客様からいただいている。**お客様に顔を向けよ**。
7. なぜ？何故？なぜ？いつも**関心**を持って。
8. **自律**し、**自立**せよ自分の考えを持って。
言われたことばかりをやるのではなく、創意工夫し言われないこともやれ。
9. 自己保身に走り他人の責任するな。常に**自己責任**で行動せよ。
10. **5W2H+1W1H**で行動せよ。
11. **汗まみれ、粉まみれ**になって仕事を覚えよ。
12. 先輩、上司の**良いところを真似**よ、さらに**進化**せよ。
13. 常に**リスク**を先取りせよ。
14. 何事にも**挑戦**し、失敗を恐れるな。
15. 「**ほう・れん・そう・だ**」を確実に実行せよ。
16. **何でもメモ**せよ。思わぬところで役に立つ。
17. **易きに流**されるな。
18. 責任(お金で償うこと)は取らなくていいが、**責任感**は持つ。
19. **聞き上手**であれ。

以上です。(20番目はあなたが作ってください)

何を今更という諸氏が多いかもしれませんが、ホントに理解しています？と言われるような行動をしていないでしょうね？(笑)

私も社会人となった頃は随分と知らないことが多く、随分と失敗や恥をかいたことを忘れません。勿論、現在も私は、毎日毎日知らないこととの出会いばかりで、恥をかくことも多いのです。いつまでたっても**「初心忘るべからず」**、もっと精進しなさいということでしょうか。

今期も余すところ4ヶ月です。ご安全に！

社長 赤堀肇紀



<5W2H+1W1H>

When いつ	Where どこで	Who 誰が
What 何を	Why なぜ	Whom 誰に/誰と
How どのように	How much いくらで	How many いくつ

<ほう・れん・そう・だ>

- ◆ほう：報告
- ◆れん：連絡
- ◆そう：相談
- ◆だ：打合せ



今回は、当社の**オンリーワン**製品にスポットを当ててみたいと思います。



『**想いはカタチに、こだわりは品質に**』当社のパンフレットには、こんなフレーズが書かれています。当社が粉体ハンドリング機器のメーカーとして40年以上積み上げてきたノウハウは、これまで実に様々な製品にカタチを変えこの世に産声を上げてきました。

その中でも当社独自の技術に基づく製品、言わば**「オンリーワン製品」**は、当社の強みとして屋台骨を支えてきてくれました。

現在の市場において、競合製品がなく、はっきりと「オンリーワン製品」と言えるものを挙げると、下記のラインナップになります。

- ◆かるがるフィーダ
- ◆かるがるコンベア
- ◆かるがるマルチ粉体計量装置
- ◆フレカルフィーダ
- ◆付着防止シュート
- ◆振動式バタ弁



これら以外でも、空気輸送型のイートトップ／サンフローや、高圧型のハイフローなどは、やはり競合と言える製品がほとんどなく、オンリーワン製品の1つとしても良いと思います。

また数字で見ると、特許件数が36件、出願中が17件、登録実用新案が2件あり、少なくとも**50件以上の独自技術・機能**があるということになります。(2013.4.1 現在)

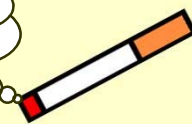
なおPE室では、「**オンリーワン技術の掘り起こし**」を部門目標に挙げ、今まで弊社が製作した装置で多少または大幅な改造をすることで、他社と差別化が可能で「オンリーワン製品」となり得る装置が眠っていないかを調査しています。

赤武エンジのDNAを紐解き、そこに新たなる息吹を与えるこの試みは、これからの当社のルーツを築いていく作業と言えるかもしれませんね。

取材協力：PE室、営業部



タバコの煙からPM2.5 !?



健康

最近世間を騒がせている「**PM2.5**」。なんとなくPM2.5という危険物質が飛来しているように思えますが、実はコレ、**『粒径が2.5 μm以下の粒子』**のことを指すというのはご存知でしたか？一般的には大気汚染の原因となる微粒子全般を指し、大気汚染の程度を示す指標とされています。日本でのPM2.5の環境基準は**1日平均35 μg/m3以下**であり、この濃度を超えるPM2.5が飛来していると騒がれているわけですね。

PM=Particle Matter
「粒子状物質」の略称

そうすると、当社で扱う粉が粒径2.5 μm以下でそれが粉塵となった場合、これもやはりPM2.5ということになります。

作業中にいちいち濃度を測定することはありませんが、紙袋やフレコンの投入を行えばその周囲の粉塵濃度は極端に高くなり、環境基準を超える恐れが出てきます。

PM2.5が危険視されているのは、**粒径が小さいため、吸い込むと肺の奥深くに入り込みやすい**ためです。さらにその**粒子自体の有害性**が高ければ高いほど、危険性は高まっていきます。

皆さん、くれぐれも粉塵対策は怠らないようにしてくださいね！

さてこのPM2.5ですが、**タバコの煙**からも盛んに出ております。タバコは「発がん性を含む多くの有害性を持つ」と科学的にも証明されているため、**発生するPM2.5も当然有害性が高い**です。

さらに、喫煙室などの閉鎖空間ではPM2.5の濃度が大幅に上がり、大気汚染が深刻な北京並みになります。

分煙をすれば周囲への拡散のリスクは軽減しますが、ドアで仕切られた喫煙室でも人の出入りに伴い煙が漏れ、その都度環境基準を超える濃度の煙が拡散されることになります。

様々なかたちで私たちの周囲にPM2.5は存在します。自身の健康を守るため、常に注意を払っていきましょう。

